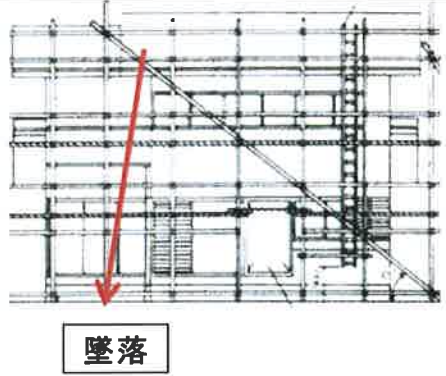


宮城労働局内労働災害事例

(宮城労働局労働基準部健康安全課)

木造家屋現場で墜落			
発生年月	平成 26 年3月 16 時頃		
業種	木造家屋建築工事業	事業場規模	10 人未満
事故の型	墜落・転落	起因物	仮設物・建築物等

発生状況	<p>木造家屋建築工事現場において、高さ約6mの屋根から墜落した。</p> <p>現認者がおらず詳細は不明であるが、翌日の雨に備え、屋根にブルーシートを掛けようとしていたものと思われる。</p>	
災害防止対策	<p>〔現在調査中のため、災害特有の一般的対策を列挙したものです〕</p> <p>墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には手すり等を設けること。</p> <p>手すり等を設けることが困難な場合には、防網や親綱を張り、安全帯を使用させる等により、墜落防止措置を講じること。</p>	
留意事項	<p>〔過去の事例から災害防止のポイントを掲げています〕</p> <p>屋根端部から墜落を防止するためには、足場建地を軒に出来るだけ近づけ軒より1m程度高く上げ、作業者が墜落しないように手すり・中さん等を設置しなければなりません。</p> <p>手すりの中さんの間を作業者がすり抜けないように設置することが重要となります。</p>	